

文字を書こう!

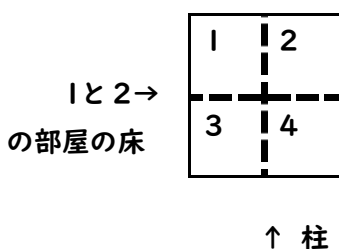
バランスのとれた美しい文字を書くためには、正しいえんぴつのもちかたで書くことが大切です。もう一度ご家庭で確認をしてみてください。

【正しいえんぴつのもちかた】



【ひらがなを書こう】

美しいひらがなを書くときには、4つの部屋を意識して書かせます。どの部屋を通るのか、どの部屋まで線を伸ばすのか、どの部屋で曲線が始まるのかなど、ポイントを伝えることで、具体的に形を説明することができます。



例えば・・・“し”は1の部屋の上のほう、柱よりのところから始めて、まっすぐ線をおろします。3の部屋でカーブして4の部屋に入って上にはらいます。2の部屋は空き部屋です。

まっすぐの線ではなく、ほんの少し丸みを帯びた線、曲がるときの角度、とめ、はね、はらいなどを意識させて取り組ませていただくとよいです。ひらがな表によって、読む本によってひらがなのとめ、はね、はらい、線の長さ、角度など、微妙に表記が違っていたりしますが、お配りしたひらがなプリントをもとに指導していきます。

お手本を指でなぞってから、えんぴつでなぞりの部分を書きはじめるとよいです。プリントの表面だけを休校期間中に取り組み、やったところはおうちの方が丸をつけたり、赤で直しをしてなぞらせたりしてあげてください。裏面の練習は学校が再開したら宿題に出します。取り組んだ順に、ファイルにとじていってください。ご協力よろしくお願ひします。

“正しく、楽しく、くり返し”がひらがなを覚えるための近道です!

- ①比較的書きやすい文字:「し・つ・く・へ・い・り・こ・に・の」
- ②画数は少ないが形のとりにくい文字:「ひ・て・ん・ろ・る・そ・う・ら・ち」
- ③二画以上のやや書きにくい文字:「す・み・え・と・さ・き・せ・た・も」
- ④二画以上の紛らわしい文字:「よ・ま・け・は・ほ・め・ぬ・あ・お」
- ⑤さらに形のとりにくい文字:「れ・わ・ね・か・や・ゆ・な・む・ふ・を」